



2月号

ふじいでら 市議会だより

編集・発行／藤井寺市議会
☎939・1208
藤井寺市岡1-1-1

平成30年第4回定例会の概要

第4回定例会は11月30日から12月21日までの22日間の会期で開催され、提出された平成30年度補正予算、条例の一部改正、報告案件、人事案件など20案件、意見書2件、請願1件について、委員会・本会議を通じて慎重に審議を行い、すべての案件を議決しました。

また、第3回定例会において継続審査となっていた平成29年度各会計(8会計)決算を認定し、閉会しました。

人事案件

◆藤井寺市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

西浦 宣行さん

国に意見書を提出

次の意見書を全会一致で採択し、関係機関に善処を求め送付しました。

- ◎認知症施策の推進を求める意見書について
- ◎無戸籍問題の解消を求める意見書について

一般質問



日本共産党
代表質問
木下 詩

1. 災害時の避難所や本市の防災・支援体制の充実について

質問 聴覚障害者の方への情報発信には避難所に手話通訳者が必要だ。どのようにお考えか。

答弁 藤井寺市意思疎通支援事業に基づいて派遣する手話通訳者・要約筆記者は13名の方に登録して頂いている。避難生活が長期化する場合には派遣が必要になると理解している。

質問 避難所となる体育館にエアコン設置すべきではないか。

答弁 災害時の避難場所としての環境改善に対する財源措置がされており、設置による新たなランニングコストが生じることなどを考慮し、今後、判断して参りたい。

2. 将来にわたり誰もが安心して子育てできるまちづくりのため

質問 平成30年度当初、保育所を希望されて入れなかった方70名の内、61名は0歳から2歳までのお子さんだ。地域的なバランスをみて、ふじみ緑地への

民間保育所の誘致で待機児童が解消される保証はない。公立保育所の拡充が必要だと考える。保育所の建て替えの検討を今からすべきではないか。

答弁 ふじみ緑地を活用した定員150名の保育所により一定のめどは立つと考える。それ以外の方策は、企業主導型保育事業の地域枠の利用、簡易保育施設の活用、保育所定員の弾力化などがある。建て替えについては、藤井寺市公共施設等総合管理計画の方針に従って行われ、現在、ニーズの動向が見えるまで経過観察を行い、改めて再編を計画するという考えだ。

質問 管理計画では延床面積の縮減目標が定められており、拡充につながらない。建て替えのための土地の確保が必要だと考えるが、検討しているか。

答弁 現在のところ、公立保育所の建て替えのために確保している用地はない。

質問 第5保育所は移転によって耐震性の確保を図るとしてきた。場所の確保を明確にすべきだが、今、どうなっているか。

答弁 第5保育所については、機能移転により安全確保を図る方針だ。具体的な移転の決定に至っていないため、それまでの間、在園児の安全を確保するた

めに、現在のところ、耐震シエルトラーの設置を考えている。

質問 統合1年前となる幼稚園においては、現在の園が統合先の園かを保護者に選択させた。その結果、平成31年度4歳児の入園申込数は、どうなっているか。

答弁 野中分園では3名が南幼稚園を申込み、野中分園は0名、西幼稚園では8名全員が西幼稚園を申込んだ。道明寺東幼稚園では10名が道明寺幼稚園、3名が現在の道明寺東幼稚園を申込みされている。

要望 保護者の納得もままま決定した統合方針のもと、短期間での選択を保護者に迫り、結果として道明寺東幼稚園では、本来13名となるはずが、1クラス3名となっている。また園区すらなくなる。地域の協力もと幼小連携を図るといふ公立幼稚園の良さが失われると考える。今回の幼稚園統廃合は立ち止まるべきだ。就園率の向上のためには、統廃合ではなく3歳児保育こそ実施すべきだ。

要望 保育所や幼稚園の保育料について要望する。2人目以降のお子さんの減免は、1人目のお子さんの年齢やご家庭の所得による制限をなくすべきだ。また本市では公立保育所の主食費は

徴収していないが、国は3歳以上児の給食費無償化は考えていない。平成31年度以降も給食費の無償化を続けることを求める。

3. 子ども達にとって無理のない小学校のクラス編成を求める要望 3年生以上で平成31年度、1クラスの人数が支援学級の児童を含めると40人を大きく超えかねない学校がある。教職員を拡充し、適切なクラス編成となるよう求める。



日本共産党
個人質問
瀬川 覚

1. 藤井寺市立第5保育所の耐震補強工事の実施を求める質問 第5保育所の耐震化は喫緊の課題であるという認識があるか。

答弁 老朽化が進んでいることから施設改修や耐震補強など、子どもたちにとって安全・安心で快適な施設整備が急務となっている。近い将来、発生する可能性が高い南海トラフ地震も見据え、耐震性の確保については早期に対応する課題であると認識している。

質問 平成27年度に耐震設計業務を中断した理由を伺う。

答弁 設計前の調査において基礎と柱の定着に不具合が発見され、判定委員会との協議の結果、既存の設計図書の通り施工されているのか、柱脚部の全数調査が必要であるという結論となった。保育を行いながらの全数調査は運営上、非常に困難であるとの判断から、中断した。かか。

答弁 3か月程度と考える。

要望 耐震シエルトラーを保育室につくるとなると、内装をはがし、基礎からシエルトラーをつけた後で内装を付け直すことになる。全数調査の後、床を元に戻すより、シエルトラーの方がよっぽど大がかりではないか。シエルトラー化ができるというなら、全数調査をすればよい。

質問 シエルトラーの外にいる方の安全は保証できるのか。

答弁 すべての鉄骨部材がボルトや溶接で固定されており、シエルトラーが支えとなり、一定の空間は確保できると考える。

要望 安全の保証とはならないではないか。このままではシエルトラー化のまま、耐震性の確保がいつになるかもわからない。耐震補強工事を行うべきだ。





政新クラブ
代表質問
麻野 真吾

1. 各業務内容の整理について
(1)業務マニュアルの作成について

(2)業務の見える化について

(3)業務のスリム化について

質問 業務マニュアルの作成において再任用職員を活用することについてお聞かせください。

答弁 経験豊富な再任用職員の助言を参考にすることで、技術の継承等につながると考えます。

質問 部長や課長は部署の業務に適切に問題意識を持っているのでしょうか。

答弁 課長を中心にマネジメントされ、その結果が部長に集約されることで適切に把握されていると認識しています。

質問 少ない職員数で業務をこなすための検討をどのようにされているのでしょうか。

答弁 個々の職員のスキル向上に加えて、アウトソーシングや事業の縮小・廃止の決断も必要になると考えます。

質問 これらの取り組みによる部長を中心としたマネジメント体系の構築へのお考えをお聞かせください。

答弁 本市にふさわしい手法の

見極めが重要であり、最適な行政運営の手法について研究を進めていきたいと考えています。

要望 民間企業であれば、マニュアルは存在し、更新も定期的に行われていると思います。市制が始まって50年以上を経過するのに、仕事の仕方が変わらないことが残念です。

2. きめ細やかな行政サービスについて

(1)市域全体のカバーについて

(2)周知方法について

質問 協定等により、他市の行政サービスを利用している事例についてお聞かせください。

答弁 小山7丁目及び川北1丁目の一部区域について、八尾市の小・中学校への通学も選択することが可能です。上水道についても、近隣市から給水を受けている地域があります。

要望 諸事情によって実現に至っていないケースや、周知ににくいケースの解消に努めていただくよう強く要望します。

質問 当該地域に転入された方については、市民課での受け付けの際に案内されているのでしょうか。また、説明文書はあるのでしょうか。

答弁 他市の行政サービスを地区ごとに説明した文書は作成し

ていませんが、必要な手続等についてはご案内しています。

質問 他市の行政サービスの説明文書を作成し、必要な方にお渡ししてはいかがでしょうか。

答弁 転入者や市民の方に対して、広く周知できる方法を検討していきます。

要望 今回の質問をきっかけに、転入手続き時に川北地区、小山7丁目、陵南町にお住まいの方

向けに、案内文書を作成し、周知を図っていただけるよう検討しますというご答弁ですので、よろしくお願いいたします。

3. 公共施設再編基本計画について

(1)進捗状況について

(2)平成31年度の重点取組事項について

質問 結論に近いところまで進んでいる取り組みはあるのでしょうか。

答弁 方向性が見えてきた取り組みもありました。

質問 検討状況について、報告や公表を行う予定はあるのでしょうか。

答弁 一定の報告、公表が必要ではないかと考えています。

質問 重点取組事項、予算化についてお聞かせください。

答弁 公民連携事業、ESCO

事業などに取り組んでいきたいが、予算化は現在未定です。

質問 公民連携事業については、継続事業として当初予算化すべきであると思うが、お考えをお聞かせください。

答弁 大規模事業のため慎重に検討を進める必要がある一方、耐震化や長寿命化の必要性が迫っていることは認識しています。

要望 30年後、40年後を見据え、極力財政負担の少ない形で公民連携事業を進めていくべきであると思います。

※ESCO(エスコ)事業
省エネによる光熱水費の減少分を原資に、照明のLED化や空調の更新を行う事業。

4. 学力向上について

(1)無料塾について

(2)秋田流の教育について

質問 ひとり親家庭学習支援事業の運営状況についてお聞かせください。

答弁 小学4年生から6年生と中学生を対象に、定員28名で個別指導を実施しています。

質問 利用者、保護者からの反応についてお聞かせください。

答弁 やる気を出したい、勉強のやり方を知りたいという意見が寄せられています。

質問 所得にかかわらず、平等

に勉強の場を提供する無料塾の実施について、教育委員会のお考えはいかがでしょうか。

答弁 無料の塾を設けることは、保護者の選択の幅が増えると考えます。

質問 今後の展開について副市長のお考えをお聞かせください。

答弁 今後、事業効果の検証も踏まえながら、事業内容等について検討してまいります。

要望 藤井寺市の子どもたちの学力向上のために、プロジェクトチームを作ってお検討いただくことも一案であると思います

し、小学生版「ゆめ」教室のバージョンアップを行うなど平成31年度実施に向けて、ご検討いただきますようお願いいたします。

質問 秋田県式家庭学習ノートの取り組みについて、教育委員会のお考えをお聞かせください。

答弁 自主学習ノートを活用し、学習に取り組んでいます。今後、秋田県の事例も参考にすべきところがあると捉えています。

要望 規則正しい生活と家庭学習の習慣を身に付ける秋田流をヒントに取り入れていただきますようお願いいたします。

※無料塾(むりょうじゅ)は、小・中学生が無料で学習できる場所や質問に答える先生を置き、学力向上を図る事業。

5. 英語力向上について

(1) 英語村について

質問 前回議会で前向きな答弁をいただきましたが、その後の検討状況をお聞かせください。

答弁 生涯学習課が中心となり検討を進めています。場所は市役所地下の食堂スペースの利用を検討し、講師は各回2〜3名のネイティブスピーカーの手配を考えています。

質問 英語村を發展させて、子どもたちの英語力向上の一助とすることについて、どのようにお考えでしょうか。

答弁 ネイティブの英語に触れて体験する場があれば、チャレンジ意欲のある子どもは興味を持つと考えます。

質問 市役所地下の食堂スペースで小学校入学前の子どもたちに英語に興味を持ってもらうような企画についてお考えをお聞かせください。

答弁 世界文化遺産登録や小学校で英語が教科化されることを背景に、市のセールスポイントとしての発信も考えられます。関係部局と協議し、実施形態、予算、スタッフなど具体化を図ることが必要と考えております。
質問 事業実施のため必要となる体制等の具体化について、副市長にお考えをお聞きます。

答弁 現在、実施に向けて事業内容等を検討中ですので、今後、事業内容の具体化を図っていく中で整えていきます。

要望 小学校において英語が教科として扱われる2020年度に向けて、その前年度から動き出すようごよいタイミングです。教育委員会自らが主体となって汗をかき、関係部局の協力を仰ぎ、これらの事業を具体化していただくよう強く強く要望します。

※英語村(えいごむら)
ネイティブの英語に触れて体験することができるところを提供し、英語力向上を図る事業。



公明党
代表質問
片山 敬子

1. 公共施設のあり方

(1) LED化の考え方

質問 施設の省エネルギー化、節電対策として公共施設のLED化を進めていく必要がある。現状の進捗状況について。

答弁 本庁舎、市民総合会館本館、別館、保健センター、生涯学習センターについてESCO事業化に向けて検討している。各補助金も視野に入れて公共施設のLED化を進めていく。

要望 今後、学校を含めてのLED化を要望する。

(2) 施設の複合化について

質問 道明寺小学校の体育館を建てる際に備蓄倉庫が整備されていないなかった。後に旧道明寺幼稚園舎の一角を使用している。公共施設マネジメントの観点からこのような事があつては困る。今後の考え方を聞きたい。

答弁 現在は再編基本計画のもと体制も整え、関係課と協議を行いながら整備を進めている。

(3) これからのあり方について

(4) 市民総合体育館について

質問 臨時駐車場の環境整備の観点から維持管理をどのように考えておられるのか。

答弁 未舗装となっている臨時駐

車場の環境悪化は十分認識している。環境改善を検討していく。
要望 健康づくりの拠点となる体育館の駐車場の整備を早急に強く要望する。

2. 防災対策について

(1) 危機管理について

ア 避難所について

質問 台風24号のおり市民会館分館に自主避難したが、夜中一時に帰宅する事になった。なぜ避難所を夜中に閉鎖したのか。

答弁 自宅に帰られるタイミングは自身の判断で、夜明けまで避難の希望があれば対応できる。
要望 警報が解除されても、夜中は危ないので夜明けまで避難できる旨の声掛けを要望する。

質問 市民総合会館分館は自主避難として心ざわしくないので道明寺小学校を開設してはどうか。

答弁 今後道明寺小学校の開設を含め検討していく。
その他の質問の項目

(2) 防災教育について

3. AEDの設置個所の周知方法について

(1) 施設と連携について

質問 AEDを地域の会館に設置したいがメンテナンスが大変である。特別老人ホームなど介護施設に設置されているAED

を付近の住民に使用してもらいう様な体制はできないのか。

答弁 市内の介護施設に正式にAEDの案内・表示や使用を依頼した場合、AEDのメンテナンス費用が発生することが考えられるので協議、調整が必要である。

要望 医療機器であるAEDをいつでも使える施設への体制作りの協議を要望する。

(2) マップについて

質問 公共施設以外のAED設置場所は大阪府マップで確認できるが周知されていないのではないかと。

答弁 広報紙で市立公共施設のAEDの設置場所掲載時に大阪府AEDマップの案内もする。

4. 安全安心な地域づくりについて

(1) 自動着信拒否装置について

質問 高齢者を狙った特殊詐欺対策の自動着信拒否装置の無償貸出を行っているかどうか。

答弁 特殊詐欺対策用に様々なものがある。利用者の選択の方がニーズがあるのではないかと。

要望 自動着信拒否装置の貸出事業は大阪府から補助がある。高齢者の方が特殊詐欺の被害に遭わないよう是非検討をして頂くことを要望する。





公明党
個人質問
伊藤 政一

1. 健康長寿のまちづくり

(1) 住民健診と介護保険の連携について

質問 本市の健康づくりと介護予防について。

答弁 健康寿命の延伸の為、介護予防と保健事業として、がん検診、住民健診や一般介護予防教室等を一体的に実施している。

質問 本市では住民健診の結果を保健事業や介護予防に活用しているか。

答弁 住民健診や健康相談の結果等を参考にし健康状態に合った健康づくりの支援を継続する。

要望 健診結果データを共有し精度の高い疾病・重症化予防に活かして頂きたい。

2. 安全安心のまちづくり

(1) 自転車の子供同乗時のヘルメット着用について

質問 大抵の方がヘルメットを装着していない。

答弁 ヘルメット着用は努力義務にとどまる。

質問 ヘルメット装着を促す何かよい周知方法は無いか。

答弁 市のホームページや広報紙、交通安全キャンペーンなど様々な周知を図っていききたい。



公明党
個人質問
田中 光春

1. 子育て支援策の充実について

(1) 幼児教育の無償化について

質問 わが党が推進してきた幼児教育の無償化が拡充されることが閣議決定された。その無償化の概要について。

答弁 施設や事業の利用料は3歳から5歳児は所得制限なく無償化で0歳から2歳児は住民税非課税が無償化の対象になる。バス送迎費、給食費、行事費や延長保育費等は無償化の対象外で実施は10月1日からとされている。

質問 国が決めた無償化制度については地方自治体で実施する範囲等を定めるとなっているが本市として対象施設は小規模保育所、企業主導型保育所、簡易保育所も含まれるのか。

答弁 国の制度のとおりに本市も実施する。

(2) 保育所待機児解消について

(3) 藤井寺市子ども・子育て支援事業計画について

質問 支援事業計画に保育の量の

要望 親御さんの意見も聞き取り、少しでも装着率が上がる工夫を要望する。

の見込みと必要な量の確保が計画されているが平成31年度も待機児童が解消できない状況である。それと、わが党派が強く求めている利用者支援事業が未達成になっている現状について。

答弁 子育て家庭からの相談は、各部署の職員が連携を図り対応しているのが現状である。利用者支援事業は支援事業計画に位置付けていることから、実施に向けて鋭意検討している。

要望 ふじみ緑地を活用した保育所が開園されると待機児童の解消につながるということですが人口の動向等も踏まえて油断なく進めることと早急に利用者支援事業の設置を要望する。

2. 避難所等の設備改善について

(1) 緊急防災・事業債の活用について

質問 国は地方自治体の喫緊の課題である防災・減災対策に取り組めるよう地方債の充当率が100%で国負担が7割で市が3割の事業債が平成30年度は5000億円が計上されているが本市の取り組みについて。

答弁 この事業債を活用して、第4保育所の耐震補強、平成30年度は救助資材搭載の消防ポンプ車の整備、藤井寺南幼稚園耐

震補強等に活用する予定です。

要望 災害時の避難所となる体育館や学校の屋内運動場に環境改善のため空調の設置やトイレ等の整備をする必要がある、この事業債の活用を要望する。



改革ふじいでら
代表質問
山本 忠司

1. 東京オリンピック・パラリンピック聖火リレーについて

質問 東京オリンピック・パラリンピック聖火リレーの実施に向けた動きが、東京2020組織委員会によって進められているが、本市の取り組みについて。

答弁 本市の古墳周辺の道路を聖火リレーのコースとして設定できた場合、本市の魅力を国内外にアピールする事もできる。今後、大阪府に本市の思いを直接伝えるなど誘致に向けて努めていきます。

要望 本市をアピールできる絶好のチャンスですので、是非とも聖火リレーのコースとして選定していただけるよう最善の努力をして頂く事を強く要望する。

2. 障がい者福祉の推進について

質問 第5期障害福祉計画において、地域生活支援拠点等について平成32年度末までに整備する方針が示されているが、今後の進め方について。

答弁 藤井寺市障害者支援会議等を通じ現状の課題と解決に必要な機能の整備方法を検討し、本市にとって何が最も重要であるかを考え、期間内の整備に向けて取り組んでいきます。

要望 障害を抱えた子どもを介護している親御さんにとって、緊急時の対応はもっとも危惧される事ですので、先進市事例等も参考にし、整備に向けて取り組んで頂く事を要望する。

3. 安全・安心に通行できる歩道整備について

(1) 小山交差点から府宮小山藤美住宅までの東側歩道の改善について

質問 この歩道につきましまして、いまだに鉄製の水路かたが雨の日には滑って危ない状態であるが、今後の改修工事について。

答弁 平成30年度中に、大阪府ではふじみ緑地南西角付近からサンプラザ前までの、東側歩道約140mの改修について設計業務に着手し、現在、測量や改

修方法の検討を行っている。また平成31年秋頃の工事発注予定です。

要望 今後、工事を実施するにあたり、安全対策を十分にし、進めて頂く事を要望する。

4. 公共下水道の汚水整備について

(1) 未整備区域における整備計画について

質問 市内の公共下水道の汚水管整備の状況を見ますと、恵美坂2丁目や小山2丁目、3丁目また北岡2丁目などの本市の北西部にあたる地域が未整備な状況になっているが、今後の整備計画について。

答弁 平成31年度に、下水道計画策定と都市計画法事業認可の取得、平成32年度より対象区域の実施設業務を行います。そして、平成33年度から下水道工事に伴うガス管や水道管等の移転工事を行い、平成34年度から工事に着手する予定です。

要望 今後は、下水道法や都市計画法の法的な手続き、また羽曳野市・松原市との協議、その後の設計や工事と色々と大変ではあるが、早期の下水道整備に向けて進めていただく事を強く要望する。



改革ふじいでら
個人質問
畑 謙太郎

1. 家庭ごみ収集業務について

質問 本市が民間委託となつている経緯について。

答弁 下水道の供用開始に伴うし尿処理業者3社の損失補償のための業務補償として平成30年度末までの13年間、収集運搬業務を提供しています。

質問 次年度からの民間委託の内容について。

答弁 市民サービスを低下させない観点から許可業者6社からなる藤井寺環境衛生事業協同組合との業務委託を進めるべく協議を進めています。

質問 区割りや収集方法について変更はあるのか。

答弁 区割りは6社で市内を6分割し、収集方法に変更はございません。市内全域での収集完了までの時間が短縮されること期待されます。

質問 市民への周知について。

答弁 収集の時間が変更される場合があるので広報紙、市ホームページとともに区長会を通じて周知して参ります。

質問 業務委託金額に変更は。

答弁 おおむね10%の増額になる見込みです。

質問 直営で行っている事業の

民間委託について。

答弁 災害時の緊急事態への対応を視野に入れ当面直営で実施します。

要望 ごみ収集業務が円滑かつ衛生的に出来るよう委託業者としっかり調整を図り混乱が起きぬよう丁寧な市民周知をして頂きますよう要望します。

2. 公共施設再編基本計画について

質問 厳しい財政状況の中スピード感をもって進めるべきだと思ふが現在の取り組み状況は。

答弁 推進本部において検討を進めています。

質問 支所の機能移転について。

答弁 土師ノ里駅周辺への機能移転を模索しています。

要望 支所機能移転の方向性を決断するとともに跡地利用として民間保育所の誘致などに活用を進めて頂きたい。

質問 老人福祉センターについて、健康維持・介護予防の機能を充実すべきでは。

答弁 その必要性は認識しており取り組んで参ります。

質問 体育館の耐震化が図られていないのは。

答弁 公民連携の複合施設を模索しつつ長寿命化を図った場合などの費用対効果を比較検討し

ています。

要望 防災面でのことを考えて長寿命化という選択肢も考慮し検討して下さい。



改革ふじいでら
個人質問
中路 新平

1. 藤井寺市の行政への市民参加について

質問 住民参加の必要性について、行政運営に住民不在を感じることがどのように考えているか。

答弁 行政と市民が主体的にまちづくりに関わっていく必要があります。市民と共に施策を実行していく姿勢が重要と考えています。

質問 そのような姿勢は、現在、感じにくいですが、これからはどのようにしていくのか。

答弁 今後とも啓発紙や研修を通じ、職員の意識醸成に努め、市民にもご協力頂けるよう努めたい。

要望 市民の意見を聞く方法として、公聴会や膝突き合わせる説明会等もあります。また、現状は市政についての発信が少な過ぎ、それにより市民の同意が得られず、不満が表れていると思われまふ。今後は、財政も厳しくなり、市民の協力がより必要となります。市長中心に細や

かな発信と説明により、合意形成を積極的に行って頂きたい。

2. 世界遺産登録に伴う周辺整備について

(1) 周辺環境整備について

質問 トイレ・案内表示・看板・及び休憩スペース等の設置について。

答弁 簡易トイレの設置を進める。看板等については、設置箇所を増やし、わかりやすいようにしたい。休憩スペースについては今後検討を進めたい。

要望 トイレ・看板は早期の設置とメンテナンスをお願いしたい。費用が必要ならば、クラウドファンディング等も活用して頂きたい。

(2) 特産品の開発・販売などについて

要望 FRAP^{FRAP}を含め、藤井寺市の魅力を発揮できる商品の開発、また駅周辺での販売方法を考えて頂きたい。お土産を売る自動販売機というのも一つの手立てと考えまふ。





薪水の会
代表質問
岩口 寛治

1.「百舌鳥・古市古墳群」世界文化遺産登録について

(1)国内推薦候補決定からの経過について

質問 平成29年7月に国内推薦候補に選定されましたが、その後の経過についてお聞きます。

答弁 平成29年9月にユネスコ世界遺産センターへ推薦書の暫定版を、平成30年2月1日までに正式版を提出しました。9月にはイコモスによる現地調査が行われました。今後は、大きな問題が無ければ5月にイコモスから勧告が出て、7月の世界遺産委員会で世界遺産登録が決定することになります。

(2)観光資源としてのアピールについて

質問 本市独自の考え方についてお尋ねいたします。

答弁 国宝を持つ社寺など本市ならではの歴史資産を核に様々な分野の取り組みを結び付け、まちのにぎわい創出につなげていくことが必要であると認識しています。

要望 資産には古墳時代から江戸時代まであり縦軸として歴史ロマンを構築していただきたい。

質問 三市の連携について、堺市、羽曳野市との連携の内容は。

答弁 墳丘測量図の作成、VR映像の作成、レンタサイクルの提供の事業があり、今後は、百舌鳥古墳群と古市古墳群を結ぶ巡回バスの必要性などを考えていきます。

(3)まちづくりへの関与について

質問 交通機関への誘導についてお聞きます。

答弁 大型バスでの回遊は、今後駐車場の設置などを考えていきます。乗用車での来訪は避けて頂き、鉄道を利用して頂くよう案内していきます。

質問 商店街活性化への影響についてお聞きます。

答弁 世界遺産登録を契機とした商店街のにぎわいの中で、消費喚起につながる取り組みにより活性化になると考える。

要望 近鉄土師ノ里駅から允恭天皇陵、仲姫命陵、道明寺、道明寺天満宮、道明寺商店街、応神天皇陵、仲哀天皇陵、アイセルシュワール、葛井寺、藤井寺商店街から藤井寺駅ルート

の確立、アピールを積極的にを行い、女性向きにはしゃれた喫茶店、グッズ店、外国人にはビジネスホテル誘致とアイデアを出すべきです。

質問 将来展望について伺う。

答弁 旅行代理店への働きかけ、新たな旅行者の誘致、観光資産としての魅力創出、古墳と社寺を結び付けたコースの選定と土産物にもなる地産品の創出など世界遺産登録本来の目的である構成資産の保護保全を視野に入れた上で、資産をPRする取り組みが必要と考えています。

要望 土地変換をしても駐車場確保の気構えがあるのか。古墳には住宅街、商店街が隣接、歴史資産も近くにあり心配事もあります。にぎわいを取り戻せる千載一遇のチャンスである。



薪水の会
個人質問
西野 廣志

1. 危機管理について

(1)消火栓が使用できない時の対応について

質問 大震災発生時には同時多発火災が発生する危険性が非常に大きくなります。

その場合、水の確保が重要ですが、本市の消防能力について消火栓や防火水槽の現状は大丈夫なのか、そこで現在どのような状況がお尋ね致します。

答弁 平成30年4月1日現在では、消火栓が932基、40t以上

の防火水槽が、公設と私設を合わせて1001箇所、プールが15箇所あります。

消火栓が地震等の天災等により使用ができなくなった場合、大火になる危険性も十分予想され、防火水槽やプール等の人工水利を利用し、消火力が足りない場合は、河川、ため池、農業用水利などの自然水利等を有効に利用し消火活動を行います。

質問 第1保育所前の防火水槽

や道明寺地区の防火水槽の消火能力や、そこから対応できる距離と範囲はどの程度のものか。

答弁 第1保育所前の、オオガイト緑地では、防火水槽は常時100tの水が入っており、仮に消防ポンプ自動車2台を水利部署が消火活動を行うと約2時間の放水が可能です。又、藤井寺小学校のプールには275tの水があり、併せて長時間の消火活動が可能となります。

距離については、消防ホースの長さが1本20mで、消防ポンプ自動車の送水能力では、1台につき約10本で200m、小型ポンプ積載車の送水能力では、1台につき約5本で100mとなります。「中継」を行いながら、消防車両で送水を行えば、その部隊の規模によりまして、遠距離送水が可能となります。

道明寺地区にあります、消防水利につきましては、2基の防火水槽があり、1基につき約80tの水量があります、2時間以上上の消火活動が可能となります。また、道明寺南小学校のプールもあり、こちらにも、水利使用することにより、長時間の消火活動が可能となります。

要望 本市の状況を見ると現在、河川や水路を見ますと、大井処理場の横の川のほかに、消防水利として使用できる場所はないように見受けられますが、河川の水位を上げて、常時水の流れるある街にし、本市の水量の資源としてある大井の下

水処理場の水を上流に流し、30〜50cmの深さが確保できるような工夫、これは地域で給水管を入れられる可能性のある所に少し川底を掘り下げ水量の確保ができる手立てを考えるなど、また上から50cmの深さを確保できるように堰をし、段階的に堰の高さを替えて常時水の確保ができるように考えていくべきではないかと思えます。



平成30年第4回定例会議決結果一覧

議案番号・議案名		会派・議員名			政新クラブ	公明党		ふじいでら改革		薪水の会		日本共産党		無党派	結果
		麻野 貞吾	清久 功	岡本 光		片山 敬子	田中 光春	伊藤 政一	畑 謙太郎	山本 忠司	中路 新平	岩口 寛治	西野 廣志	木下 誇	
認定第1号	平成29年度藤井寺市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	認定
認定第2号	平成29年度藤井寺市駐車場特別会計歳入歳出決算認定について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
認定第3号	平成29年度藤井寺市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	〃
認定第4号	平成29年度藤井寺市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	〃
認定第5号	平成29年度藤井寺市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	〃
認定第6号	平成29年度藤井寺市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
認定第7号	平成29年度藤井寺市病院事業特別会計決算認定について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
認定第8号	平成29年度藤井寺市水道事業会計決算認定について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
報告第16号	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度藤井寺市一般会計補正予算(第3号))	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第52号	藤井寺市特別会計条例の一部改正について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第53号	藤井寺市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第54号	藤井寺市手話言語条例の制定について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第55号	藤井寺市公共下水道事業の設置等に関する条例の制定について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第56号	藤井寺市立幼稚園条例の一部改正について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	〃
議案第57号	藤井寺市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第58号	平成30年度藤井寺市一般会計補正予算(第4号)について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	原案可決
議案第59号	平成30年度藤井寺市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第60号	平成30年度藤井寺市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第61号	平成30年度藤井寺市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第62号	平成30年度藤井寺市病院事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第63号	平成30年度藤井寺市水道事業会計補正予算(第2号)について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第64号	一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第65号	平成30年度藤井寺市一般会計補正予算(第5号)について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第66号	平成30年度藤井寺市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第67号	平成30年度藤井寺市介護保険特別会計補正予算(第4号)について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第68号	平成30年度藤井寺市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第69号	平成30年度藤井寺市病院事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第70号	平成30年度藤井寺市水道事業会計補正予算(第3号)について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
請願第4号	藤井寺市立第5保育所の早期耐震化を求める請願について	×	×		×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	不採択

議長のため、採決不参加

※表の見方 「○」は賛成 「×」は反対

平成31年第1回定例会の日程 (2/22~3/22)

日	月	火	水	木	金	土
					2/22 本会議	23
24	25	26	27	28	3/1	2
3	4 本会議	5 本会議	6	7 民生文教	8 総務建設 予算(説明)	9
10	11	12 予算 (審査)	13 予算 (予備日)	14	15	16
17	18	19	20	21	22 本会議	23
24	25	26	27	28	29	30



※各日10時から開催します。
但し、3月8日の予算(説明)は13時から、3月13日の予算(予備日)は14時から開催します。
※日程などは変更する場合があります。